

2019.6.21

# 施工仕様書

親水性無機系防汚コーティング ハイドロフィリッククリアーコート

INDEPENDENT SERIES  
親水性無機系防汚コーティング



**HYDRO PHILIC**  
CLEAR COAT  
ハイドロフィリッククリアーコート



株式会社オブティマス  
〒556-0021 大阪府大阪市浪速区幸町1-2-8 3F  
Tel. 06-6562-1151 Fax. 06-6562-3111

## 〈 クリアコーティング 〉 ハイドロフィリッククリアーコート

インデペンデントでは素地によって塗装方法を変えていただくことを推奨します。

下記の通りご確認お願い致します。

施工方法: 刷毛、ローラー、噴霧器(防虫噴霧器等)

### ・サイディング・塗装面・太陽光パネルの場合

工程	工程名	商品名	塗布量	希釈(%)	乾燥時間(20℃)
工程①	プライマー	なし			
工程②	上塗り	ハイドロフィリック クリアーコート	0.05~0.08 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0%	30分~1時間

### ・コンクリートの場合

工程	工程名	商品名	塗布量	希釈(%)	乾燥時間(20℃)
工程①	プライマー	オプティマス C3プライマー	0.15 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0%	30分~1時間
工程②	プライマー	オプティマス C3プライマー	0.15 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0%	30分~1時間
工程③	上塗り	ハイドロフィリック クリアーコート	0.05~0.08 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0%	30分~1時間
工程④	上塗り	ハイドロフィリック クリアーコート	0.05~0.08 (kg/m <sup>2</sup> /回)	0%	30分~1時間

### 下地処理

素地は必ずケレン・目荒し・洗浄を行い、錆・汚れ・藻・カビ等をよく落とし、清潔な面としてから素地に合った下地処理をして施工してください。コンクリート、モルタルの養生期間は夏期3週間 冬期4週間以上、含水率10%以下、PH9.5以下にしてから塗装してください。

### ハイドロフィリッククリアーコート塗装上の注意

#### 1. 塗膜剥離に関する件

① メーカー指定の塗材を使用する。

・ 他社メーカーの材料を組み合わせると、接着力や耐久性に不具合が起こる可能性があるため、メーカー指定の材料を使用する。

② 溶剤系の塗料が使用された場合は、ハイドロフィリッククリアーコートは水系塗料であるので接着不良やハジキと言った不具合現象が起きる可能性が大で、サンダー等で除去し水系プライマーを塗布後ハイドロフィリッククリアーコートを施工する。

#### 2. 低温・高温・多湿(5℃以下35℃以上湿度85%以上の環境条件)での施工回避

・ 上記の環境条件の場合は塗膜強度の発現が遅くなる為施工は避ける。

(水の蒸発が低温・多湿の場合だと水の飛びが遅く塗膜形成が著しく遅くなる。又、高温の場合ローラー目や刷毛目ができ美観を損なう為。)

#### 3. 塗装できない下地

① 下地の塗装でフッ素コーティングやシリコンコーティングの場合接着力が確保できない為、(接着しない。)ハイドロフィリッククリアーコートの塗装は避ける。

② PP(ポリプロピレン)の下地はハイドロフィリッククリアーコートが接着しないため塗装は避ける。

③ 脆弱な下地

#### 4. 施工に関して

① 雨天の場合は施工を見送る。(晴れていても、急速に曇ってきた場合施工を中断する。)

② 塗装時及び塗装後は換気を良くする。(塗膜の形成が遅くなるため。)

③ 水系塗料なので希釈する際に溶剤は使用しない。(塗料分離や乾燥不良が起こる。)

④ 送風機による空気の循環を行う。(特に湿度が高い場合は塗膜乾燥が極端に遅くなる為。又、風は直接塗装面には当てないようにする。)

#### 《保管上の注意》

・ 子どもの手の届かないところに保管し、誤飲・誤食しないように十分注意してください。

・ 塗料は蓋をし、直射日光の当たる環境や0℃以下の環境を避けて保管してください。

#### 《応急処置》

・ 目に入った場合は直ちに大量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。

・ 皮膚に付着した場合は多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは皮膚に異常がある時は必ず医師の診断を受けてください。

・ 誤って飲み込んだときは無理に吐き出そうとせず、すぐに医師の診断を受けてください。

・ 施工中に気分が悪くなった時は作業を中断し、空気の清浄な場所で安静にしてください。